

ベトナムでの橋梁健全性モニタリング・セミナー開催報告

2014年12月、ベトナムのホーチミン市で、土木学会（JSCE）とホーチミン工科大学（HCMUT）の共催により、橋梁の健全性モニタリング（Bridge Health Monitoring : BHM）に関する技術セミナーが開催されましたので報告いたします。

19日の午前の部では、HCMUT キャンパス内の講堂に日越両国から約80名が参加し、下記の発表がありました。

1. 「ベトナムにおける BHM の現状」(To Nam Toan 氏 ベトナム国運輸省道路総局 国際協力・科学技術局長)
2. 「Weigh-In-Motion 技術の理論と応用」(菅沼久忠氏 ㈱TTES)
3. 「光ファイバーセンサの BHM への応用」(土屋宗典氏 長野計器㈱)
4. 「BHM システムの構成とデータ活用について」(石川裕治氏 ㈱NTT データ)

今までこのようなセミナーは北部のハノイで多く行われていましたが、今回は南部での活動を強化するためにホーチミン市で開催されました。ベトナムでは老朽化した既設の中小橋梁が多くあり、また近年次々に建設される斜張橋などに対する BHM がますます重要視されています。このような背景を踏まえ、Q&A セッションでは各発表者との間で活発な意見交換がありました。

午後の部では日本からの参加者と HCMUT の先生など、約10名が参加して円卓会議が開かれました。この会議では各グループから提案された具体的な項目についての情報交換や、その連絡網の確認などが話し合われました。

翌20日には HCMUT の先生方の案内で、Saigon Bridge などの市内の代表的な橋梁を見学しました。

ベトナムグループでは、今回のセミナーを橋梁分野での今後の日越技術協力の第一歩と位置づけています。今回の催しが単発の技術セミナーで終わることなく、将来の緊密な技術協力、具体的なプロジェクトの実施、ベトナム各地への展開へと発展していくためのフォローを引き続いて行う予定です。



セミナー参加者と HCMUT の先生方



円卓会議の状況

[記 国際センター国際交流グループ ベトナム Gr.]

【参考文献】石塚敬之：ベトナムで橋梁健全性モニタリングのセミナーを開催、橋梁と基礎、Vol. 49、No. 2、pp. 83、2015年2月

※今号掲載報告記事の所属、肩書はイベント開催当時のものです。